

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成26年～平成30年度(5年間)						
事業実施地区名 (都道府県名)	(れいほくによど) 嶺北仁淀計画区 (高知県)	事業実施主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署						
事業の概要・目的	<p>当事業区は、高知県北部に位置する嶺北仁淀森林計画区の国有林26,633haを対象としている。</p> <p>本計画区は、西は吉野川の源流部、東は南小川上流部の徳島県境までの高知県北部に位置し、区域面積190,947haで森林はその86%の164,188haとなっている。年平均気温は12.4℃、平均年間降水量が3,704mmと林木の生育に適した気候下にあることから、スギを中心とした植林が行われており、人工林率は69%となっている。</p> <p>国有林野は、吉野川の源流部、瀬戸川、汗見川、南小川等の上流部、仁淀川の支流に広く分布している。人工林率は59%で、ヒノキが61%を占めている。人工林の齢級配分は、7～12齢級の森林が74%を占めており、これらの高齢級化しつつある人工林について適切な施業を引き続き実施することが必要である。天然林は、筒上山、瓶ヶ森、白髪山、寒風山等周辺にまとまって分布している。これらの天然林は地域を代表する多種多様な林相からなり、自然美の景観としても優れているものも多く、国定公園、保護林、レクリエーションの森等に多数が指定されている。</p> <p>また、この地域においては、高知県の林業活性化の中心施設として県などが事業化を誘致した四国最大級となる大規模な製材工場が設立されたことから今後、国有林においても木材の安定的な供給を通じ地域産業の振興に寄与することが求められている。</p> <p>このような本計画区の状況を踏まえるとともに、森林に対する国民の要請が、国土の保全や水源のかん養に加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等の面で期待が高まるなど、公益的機能の発揮に重点を置きつつ多様化していること、特に地球温暖化の防止、生物多様性の保全については国有林への期待が大きいことを踏まえ、本事業においては、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備の推進や、このための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容 更新面積 238ha ・ 保育面積 3,743ha 主な保全対象 開設延長 14.0km ・ 改良延長 30.5km 総事業費 2,474,218千円</p>								
費用対効果分析	<table border="1"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>12,899,313千円</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>2,914,386千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>4.43</td> </tr> </table>			総便益(B)	12,899,313千円	総費用(C)	2,914,386千円	分析結果(B/C)	4.43
総便益(B)	12,899,313千円								
総費用(C)	2,914,386千円								
分析結果(B/C)	4.43								
森林管理局事業評価技術検討会の意見									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 有効性 事業計画は保育等の森林整備を通じ、多面的機能を発揮する健全な森林の育成に資するものであり、路網の整備についても、森林整備と連携したものとなっている。加えて地域の要請に応え木材の安定供給等を通じ地域の活性化にも資するものとなっていることから有効な事業であると認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>								

様式1

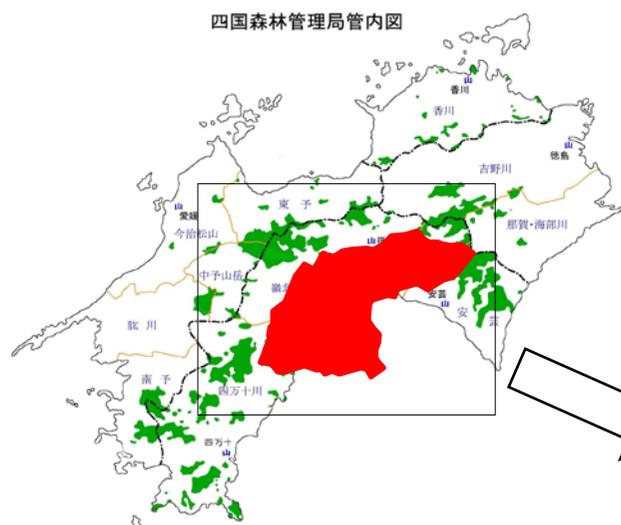
便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名 森林環境保全森林整備
施行箇所 嶺北仁淀森林計画区

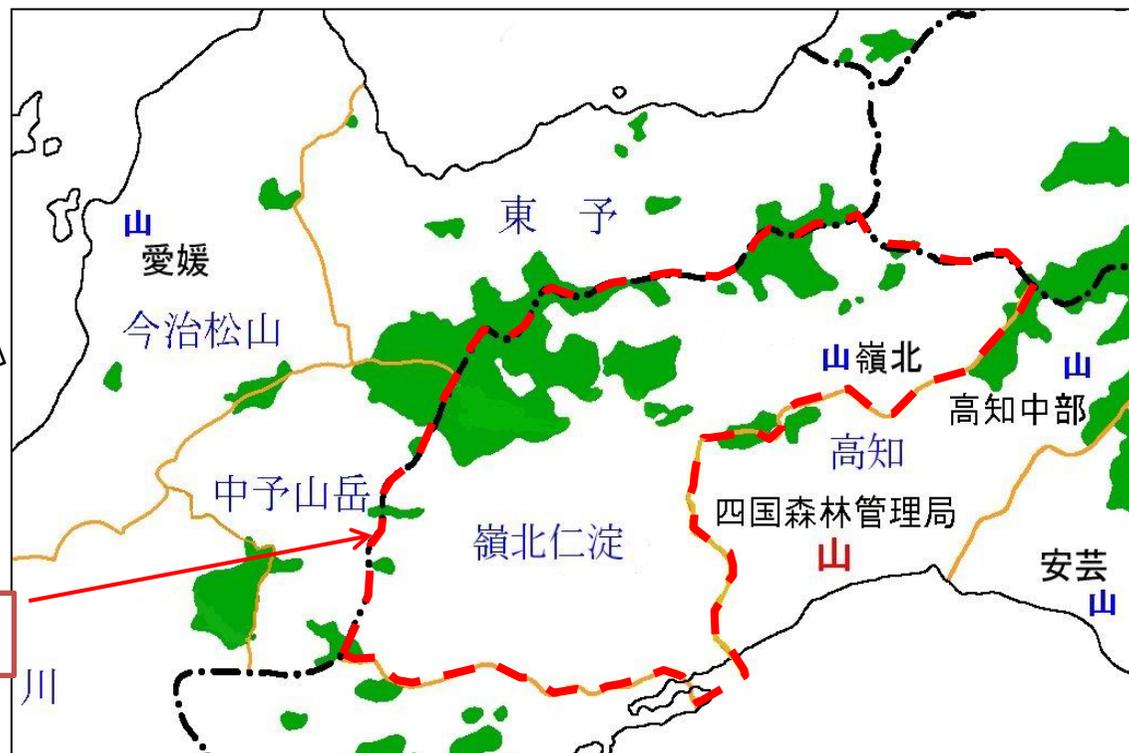
都道府県名: 高知
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	1,941,855	
	流域貯水便益	1,029,034	
	水質浄化便益	2,270,692	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,321,119	
環境保全便益	炭素固定便益	722,029	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	480,886	
	木材利用増進便益	10,108	
	木材生産確保・増進便益	1,043,506	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	31,936	
	森林整備促進便益	3,048,148	
総 便 益 (B)		12,899,313	
総 費 用 (C)		2,914,386	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,899,313}{2,914,386} = 4.43$		

平成25年度 森林環境保全整備事業 嶺北仁淀計画区(高知県) 事業概要図



対策計画区拡大図



嶺北仁淀計画区